

このメールマガジンはスポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

☑ スポーツ振興くじ (toto) についてはこちらから
[日本スポーツ振興センター HP] <http://www.jpnsport.go.jp/>



特集

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

クラブの安定的な運営のためには、受益者負担を基本に、最終的には自主自立の財務運営を目指す取組が求められます。今回は、事業受託・会費の設定を工夫するなど、財源の確保に向けた取組を行っているクラブを紹介します。

[詳細 → NPO法人 かがみいしスポーツクラブ](#)

[詳細 → NPO法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ](#)

特別企画

連絡ツールを活用するクラブ

クラブが会員や地域住民に向けて情報の発信を行う際には、メールやホームページ以外にもさまざまな連絡ツールが考えられます。今回は、すぐに活用できそうな幅広い連絡ツールを活用しているクラブを紹介します。

[詳細 → スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ](#)

助成金情報

- (公財) ライフスポーツ財団「一般公募助成事業」
- (公財) 大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成 (近畿2府4県限定)」
- (公財) 大和証券福祉財団「第23回 ボランティア活動助成要領」

[詳細 → http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_aid.PDF](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_aid.PDF)

お知らせ

- クラブアドバイザーミーティング開催報告
[詳細 → http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_adviser_MTG.pdf](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_adviser_MTG.pdf)
- フェアプレイ情報
・フェアプレイ大賞2015-16表彰式
- 指導者資格情報
・平成28年10月1日付公認スポーツ指導者登録手続き開始
- 熱中症対策情報
- 報告書等情報
・「スポーツリスクマネジメントの実践」アプリ・ウェブブックを配信中
- セミナー情報
・日本体育学会第67回大会 スポーツと“ひと・社会” -融合と進歩の先に-

[詳細 → http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_info.PDF](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM127_info.PDF)

バックナンバー

毎月配信される総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジンは、バックナンバーとしてPDFでいつでも閲覧可能です。[こちらをクリック](#)してご覧ください。

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

NPO法人 かがみいしスポーツクラブ 〈福島県岩瀬郡鏡石町〉

日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。安定的な運営のためには、受益者負担を基本に、最終的には自主独立の財務運営を目指す取組が求められます。

そこで今回は、事業受託・会費の設定を工夫するなど、財源の確保に向けた取組を行っているクラブを紹介します。



ここがポイント!

- ① 補助金・助成金依存からの脱却、会員が納得した上で会費・参加料改正を実行
- ② 行政との連携と自発的な提案により、地域に密着した事業受託
- ③ 会員・地域住民との積極的なコミュニケーションでニーズを把握



1 クラブ概要

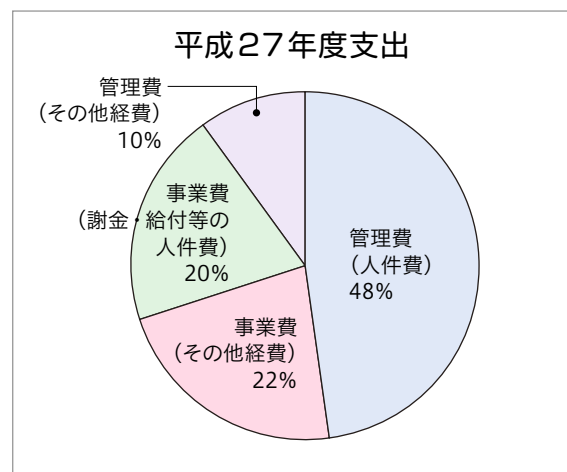
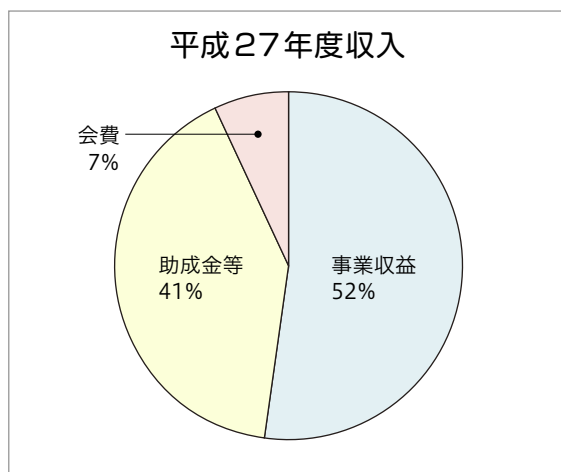
かがみいしスポーツクラブは、青少年健全育成と地域住民の生涯スポーツの推進を図るとともに、スポーツを通じた「多世代交流」「仲間づくり」「健康・生きがいくくり」を推進し、「みんなの笑顔があふれる鏡石町にしていきたい!」という理念のもと、平成21年2月に設立しました。

また、さらなる活動の充実と地域のニーズに迅速に対応できる組織体制を整えるために、平成24年度にNPO法人格を取得しました。このクラブは、誰もが気軽にス

ポーツを楽しめるクラブとして、主に鏡石町内の体育施設を利用し活動しています。

主な活動としては、サークル活動(クラブ開催定期活動)14種目、スクール活動(クラブの趣旨に賛同する加盟団体の活動)、各種教室イベントやコミュニケーション促進事業があります。

活動拠点である鏡石町とも常に連携を図り、各種支援や事業の委託を受け、一緒に地域スポーツの振興やコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。



2 クラブ継続に向けての会費・参加料改正

かがみいしスポーツクラブの、一番主となる活動はサークル活動(クラブ開催定期活動)です。しかしながら、設立当初の定期活動は会費の設定が安すぎたため、年間で約100万円の赤字がありました。この赤字分の100万円(講師謝金等の必要経費)は補助金・助成金で補っていました。

このままの方針では補助金・助成金への依存が強く、クラブ運営が立ち行かなくなると懸念し「補助金・助成金はずっと続くものではないこと」をクラブ役員に周知し「補助金・助成金がなくなった後の運営」について役員会で検討を重ねました。

そこで、クラブで行ったのが会費・参加料の改正です。会費・参加料は受益者負担とし、補助金・助成金がなくてもクラブ運営が成り立つよう、事業ごとの必要経費を計算し、料金の改正を行いました。それ

と並行して、参加する会員の皆さんに「活用していた補助金・助成金がいずれ無くなること」や「活動を継続発展させるために活動で活動会費が変更になる」旨の文書を送付し理解を求めました。

会費を改正することで「会員が離れてしまうのではないかと心配されました。しかし、会員からは「今までが安すぎましたよね」等と言ったありがたいお声などもいただき、会費改正が原因で退会する会員はほとんどおらず、改正前よりも会員が増えました。しっかり会費を払う事で、会員の活動へ参加する意識も向上したと思います。

現在では、定期活動で安定した収益が確保できるようになってきました。今後も会員や地域のニーズに合った事業を運営し活動を充実させる事で、組織の強化と安定的な雇用の確保に繋がると考えています。

3 クラブの安定運営に向けての事業受託

クラブを安定的に継続・発展させ事業の充実を図るためには、行政との連携・協力、支援が必要です。

平成23年度は、財源の約75%が補助金・助成金でした。クラブを安定的に継続・発展させるための対策として、「会費・参加料の改正」と合わせて、設立当初から連携を強化していた鏡石町と検討し、財源を確保

する1つの手段としてNPO法人格を取得し、各種事業を受託することとなりました。

平成24年12月にNPO法人格を取得し、平成25年度から、「各種教室の指導」(下表参照)や、牧場の朝のまち“さくらウォーク”、“あやめウォーク”をはじめとする「地域イベントの企画運営」等、さまざまな事業を受託しています。

■ 受託事業

連携部署	教室名／事業名	
健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ● ラジオ体操指導 ● ニュースポーツ指導 	各行政区集会所等へ出向き指導
教育課	<ul style="list-style-type: none"> ● ノルディックウォーキング ● ヨガ ● ニュースポーツ ● 基礎運動・体力づくり教室 	教育課より依頼を受け、単発教室として実施
教育課	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども運動教室 	幼児・児童を対象とした体力づくり教室や各種スポーツ教室の企画運営を4～9月に24回実施



イベント運営



子ども運動指導



定期教室



定期活動

事業受託にあたっては、クラブだからできることを考え、町に提案し、より良い企画運営を出来るように工夫しています。

各種教室指導では、基礎運動や運動遊びの指導に幼稚園・保育所や小学校へ、健康運動やニュースポーツの指導へ各地区の老人クラブに指導へ行きます。

地域の方々の主な移動手段は車で、体育施設への移動手段がない方も多くいます。事業を受託したことにより、クラブから地域へ出向き各種指導ができるようにな

り、より多くの方に体を動かす機会を提供できるようになりました。

また、事業受託により地域との関わりが増えました。幼稚園・保育所、小学校、観光協会、商工会、地区の老人クラブ等の関係各所と連携し、地域のイベントや祭りに関わる事ができるようになり、地域おこしの一翼を担うことができるようになりました。たくさんの人と繋がり、「かがみいしスポーツクラブ」という名を覚えていただけるようになりました。

4 今後の課題・展望

活動に参加するたくさんの方の笑顔を活気にクラブ運営をしています。今後も「みんなの笑顔があふれる町づくり」をミッションに掲げ、1人でも多くの方が活動を通して笑顔で元気になれるようにしていきます。

「健康意識の向上」、「きっかけ作り」、「競技力の向上」や「コミュニケーションの活性化」など多種多様なニーズが地域にはあります。引き続き、鏡石町と連携して町

民アンケート調査を実施し、それを基に事業を計画するとともに、会員や地域の方々とのコミュニケーションを図り、話をする中でニーズを把握し、それぞれに合わせたプログラムを提供できるように組織を強化し、地域になくしてはならないクラブになる事が、安定運営への近道と考えています。

50年、100年とクラブを継続発展させ、地域に愛される魅力あるクラブにしたいです。

(NPO法人 かがみいしスポーツクラブ)
クラブマネジャー 稲田 俊一)

クラブプロフィール

設立年月日 : 平成21年2月24日 (平成24年12月18日法人登記)

所在地 : 福島県岩瀬郡鏡石町

運営 : 会員数670名 予算規模1,700万円 (平成28年度)

有給職員 : 2名

特徴 : みんなが元気なクラブです。スタッフはもちろんですが、活動している人たちみんなが元気です。子どもからお年寄りまでたくさんの方が活動に参加していますが、上手になりたい、運動不足解消、体力をつけたい、楽しみたいなど目的も様々です。いろいろな人が集まり、多くの方と交流を図れるクラブです。

■ 連絡先

郵便番号	969-0404
住所	福島県岩瀬郡鏡石町緑町199番地 鏡石町営鳥見山陸上競技場内
TEL	0248-62-1600
FAX	0248-62-7651
Eメール	k-sc@swan.ocn.ne.jp
ホームページ	https://www.facebook.com/kagami.sc/

特集

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

NPO法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ ＜愛知県知多郡武豊町＞

日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。安定的な運営のためには、受益者負担を基本に、最終的には自主独立の財務運営を目指す取組が求められます。

そこで今回は、事業受託・会費の設定を工夫するなど、財源の確保に向けた取組を行っているクラブを紹介します。



ここがポイント!

- ① スポーツも受益者負担！ ニーズを探り、顧客満足度を上げる
- ② 行政と良好な関係を築き、事業受託をきっかけに積極的な提案を！
- ③ 地域密着のクラブ経営と次世代の育成を進める



1 クラブ概要

地域の小中学生のスポーツ運動能力が低下している中、文部科学省の施策に後押しされる形で、住民の英知と行政の支援のもと設立されました。既存団体を母体を持たず町内にただ一つのクラブをつくることにより、しがらみなく運営する形をつくり、「スポーツ活動を通じて子どもから大人までの町民が心もからだも健康でイキイキと暮らせる町づくりに貢献する」ために日々努力しています。

法人格取得後は、幼児対象教室と高齢者対象教室の強化をはかり、理念の継承と今後のクラブ基盤強化に必要と思われる若い世代(20代常勤職員)を雇用しました。また、指導者研修会(指導者講習会・リスクマネジメント講習会・AED講習会)を行う事により指導者のスキルアップ・リスク回避・接し方・緊急時の対応等を学んでいただく機会を年数回つくり、顧客満足度を上げる事にも努めています。

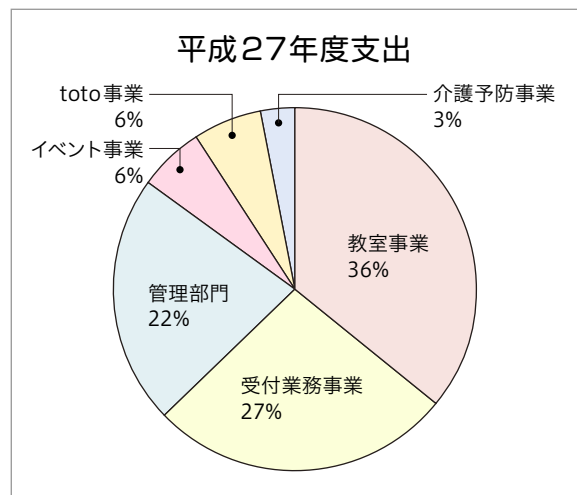
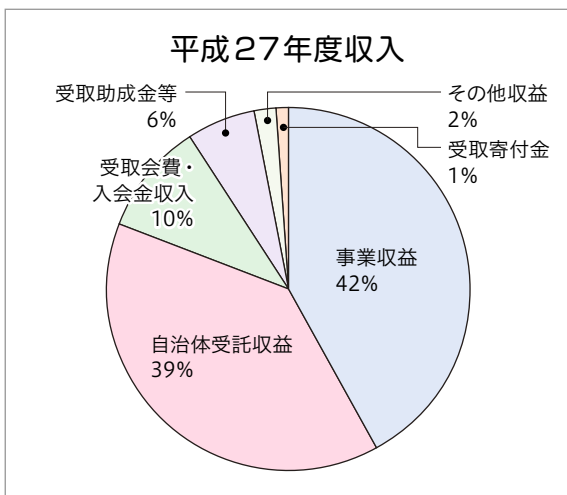


2 財務計画作成によるマネジメント強化

財務計画については、平成24年度日本体育協会公認クラブマネジャー資格取得の折に作成した5ヶ年間の事業収支計画をもとに、単年度事業収支計画をたて、以後3ヶ年毎の事業収支の見直しと5ヶ年毎の事業収支の見直しをはかり財務計画を作成しています。財務計画や予算は、理事会にて協議

し、承認を得ています。

当クラブは、会費を納めればすべての事業(教室)に参加できる形ではなく、会費を払い、その上に参加したい事業(教室)の参加費を納める仕組みとなっています。会費は、会員がクラブを支える資金として払い、会員がクラブを支えるという意識をもって



参加していただくために設けています。

なお、会費設定は、できるだけ安価に設定し、会員がクラブを支えるために負担にならない金額を設定しています。

また、参加費設定については、社会情勢の変動（消費税等引き上げ）でやむをえない金額の上乗せと、対象世代、地域ニーズ、事業（教室）の指導内容、顧客の満足度、施設利用料等の必要経費を踏まえて固定費と変動費の区分けを行い設定しています。よって、毎年の参加費見直しの折には、地域ニーズが高く、また、顧客満足度の高い教室については、基本的に参加費の値上げの検討を行い、必要に応じて価格改定を行います。

参加者のニーズや満足度の調査に関しては、アンケートを行い、広く意見を集めているほか、実際の教室において参加者の雰囲気を感じ、生の声を聞かせていただくことを重視して行っています。

参加費の値上げについては、よく指導者等から「参加費を上げると参加者が減る」という声がどのクラブでも上がりがちです。

当クラブも初めのうちはそうでしたが、その時にクラブマネジャーから指導者へ投げかけた言葉は、「私は、事業（教室）の内容を満足させ、費用対効果のある内容を提供していない。私にはこれ以上の指導はできないと言っているようなものですよ」「皆さんは、日々参加者の皆さんと接し、工夫をしながら参加者に指導をしています。皆さんの指導で参加者が満足されていると判断しているから、参加費を上げることができるんです」というものでした。

この言葉を聞いた指導者は、ほとんどの方が「参加費を上げたら参加者が減る」ということは言わなくなるうえ、指導に対するモチベーションも高まっているように感じています。

参加者のニーズに沿い、満足度さえ上がっていれば、参加費の値上げは、さほど問題なく受け入れていただけるものです。その証拠に、参加費を上げた当初は若干の参加者減はありますが、値上げして半年もしくは1年が経つと、値上げ前と同じ参加者数の水準に戻っています。



日本体育協会公認クラブマネジャーとは？

総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適なスポーツライフ（クラブライフ）を送ることができるよう、経営資源を適切に確保し、円滑に活用するために必要なマネジメント能力を身に着けるための資格です。

資格取得には？

日本体育協会が実施する公認クラブマネジャー養成講習会を受講し、検定課題（事業計画書の作成および事業計画書に基づくプレゼンテーション）に合格した方を「公認クラブマネジャー」として認定しています。

カリキュラム

	科目名	時間数	日数
前期	(1) コミュニケーションスキル	34時間	4日間
	(2) マーケティング	17.5時間	
	(3) 経営戦略	15時間	
	(4) 運営	20時間	
	(5) 財務	14時間	
後期	(6) 評価	16時間	3日間
	(7) 実習	16時間	

➔ 詳細は[こちら](#)

3 積極的な事業受託と提案型の事業受託

● **スポーツ振興事業** 行政がスポーツの普及を推進するために行っていたスポーツ体験教室・短期教室を、クラブの法人化前には、行政から補助金を受け、一部実施していました。法人格取得後は、クラブから行政に働きかけ、受託事業として実施できるようにしました。その後は、各世代で継続的に参加できる教室を行うようにし、気軽に参加できるイベントやスポーツ教室を行うようにしました。

● **体育館受付業務** 法人格取得と同時に、将来的な指定管理受託を見据えて、事務所の所在地である体育館の受付業務を受託しました。この受託にあたっては、クラブから行政に働きかけ、最初は日中受付業務から始め、段階的に終日受付業務を行うようになりました。新しい雇用の場をつくるとともに、来館時間の推移や来館状況、来館者の声をじかに聞くことにより、来館者のニーズを収集し、将来の指定管理受託に備えています。

● **介護予防事業** 高齢化社会が進む中、高齢者の居場所づくりや高齢者の医療費削減が当町でも大きな課題でした。クラブでは、この課題解決の一助として、高齢者に来ていただいて教室に参加していただくのではなく、地域の公民館等に出向いて、高齢者が気軽に集まり体操をすることによって、体力維持をし、転倒しにくく、また、転倒しても骨折しにくい体づくりを実施する「体操サロン」事業を行政に提案しました。

当初は、新しい事業、新たな予算組みが必要であったため、運動効果と高齢者医療費削減の関連性の説明でかなり苦労をしましたが、何度も説明をし、初年度に大学の教授に協力いただいて意識調査・体力チェック等を行い、ある程度成果が実証されれば事業継続という条件のもと開始しました。事業受託当初1ヶ所であったものが、現在町内2ヶ所で開催するまでに至り、平成30年をめどに4ヶ所で毎週開催をする予定で現在進行中です。



法人格取得を機に、行政との間に一線を設け、対等に話ができる状況にしたことが、事業受託にあたってはよい影響を及ぼしました。

地域密着のクラブ経営と次世代の育成 ～ 補助金に頼らない仕組みに向けて～

クラブが設立されたことにより、子どもから高齢者まで多種目多世代の事業(教室)が増えました。特に子どもと高齢者の参加できる事業(教室)は、設立以前に行政が行っていた事業(教室)に比べると断然増えました。

子ども達については、競技スポーツだけでなく、スポーツを体験する機会と楽しむ機会を提供することができ、より多くの子どもがスポーツを行える環境の整備ができています。また、高齢者については、運動習慣が身に付き、健康増進体力維持の一助になっていると思われます。

当クラブが受付業務を行う事により、利用者からの意見や要望を的確に把握することができ、クラブ職員からの新たな提案も増え、使用条件の向上がなされるようになりました。

クラブ創設メンバー(第一世代)は、地域での課題を掘り下げ、よりスポーツが出来る環境づくり、多世代が触れ合い助け合えるコミュニティづくりに邁進し尽力をしてきました。設立から7年をすぎ、やっとある程度の形ができ動いています。現在、設立メンバー(第一世代)は、この達成感

とやり続けたという自負で一杯です。

しかし、実際はこれで終わりではありません。設立メンバー(第一世代)は、自分たちや会員がつくりあげた理念を次世代に継承し、次世代がクラブで生計をたてる事が出来る仕組みをつくる事が最後の仕事です。当クラブも、次世代育成のため2年前から20代の常勤職員を雇用し、この職員がこのクラブで生計を立てることが出来る環境と仕組みをつくっています。

現在は、toto助成を受けているため、その助成金を賃金に充てていますが、1年半後には助成事業が終了します。すでに、助成事業終了後を見据え、助成金に頼らず賃金を払うための財務計画を立てています。

最後に、クラブが存続し続ける条件は、常に地域ニーズに目を向け地域課題を敏感に察知しクラブができる事を行い、人と人を繋ぎ、人とクラブを繋ぎ、人と地域を繋ぐ活動を地道に行う事により、クラブが地域に必要な存在になることが一番大切だと考えています。すなわち、私たちはいつも謙虚に地域と向き合うことが一番重要だと思います。

(NPO法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ)
事務局長兼クラブマネジャー 鳥本 靖之

クラブプロフィール

- 設立年月日 : 平成21年3月15日(法人登記:平成23年11月9日)
- 所在地 : 愛知県知多郡武豊町大字東大高字清水128番地
武豊町総合体育館内
- 運営 : 会員数910名(平成28年3月末現在)、
予算規模 約3,200万円(平成28年度)
- 有給職員 : 11名(常勤職員2名、臨時職員(パート職員)9名)
- 特徴 : 生涯スポーツ社会の実現と地域社会の再生を目的として、平成21年3月15日に「武豊町スポーツクラブ」を設立し、地域住民の自主参加による地域密着型の組織をめざし、平成23年11月9日に「NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ」を設立しました。このクラブは、住民のニーズをとらえ、将来を担う子ども達や、高齢化社会への対応をはかるために、各種スポーツ教室やイベントの企画、指導者の育成やスポーツ活動の支援を行っています。

■ 連絡先

郵便番号	470-2521
住所	愛知県知多郡武豊町大字東大高字清水128番地 武豊町総合体育館内
TEL	0569-84-1100
FAX	0569-84-1101
Eメール	info@taketoyo-sc.jp
ホームページ	http://www.taketoyo-sc.jp

特別企画

連絡ツールを活用するクラブ

[スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ]

クラブが会員や地域住民に向けて発信を行う際には、できるだけ多くの受信者に見逃されることなく届くこと、そして事務局の作業時間が短縮できるものが好ましいと言えます。

代表的なものとしてまず考えられるのは、メール（メーリングリスト）やホームページ（ウェブサイト）などです。しかし、より多くの人目に触れることが期待できるツールや、年齢層によって伝達効果が異なるツールも多く存在しています。

今月号の特別企画として、各クラブの参考となるような幅広い連絡ツールを活用しているクラブを紹介します。



1 クラブ概要

平成13年に、スポーツ推進委員会と教育委員会が発足のきっかけをつくりました。平成14年に設立準備委員会によってクラブ設立を検討し、設立趣意書に「町民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を実現する」というテーマと、「スポーツのまち久世町を復活する」と

いう宣言を掲げ、平成15年に母体を持たずにゼロから発足したクラブです。

これからスポーツを始めたいと思っている人や、スポーツをしていない人に向けた33の定期プログラムや各種イベントを行っています。平成27年度にtotoからの助成金が終了し、自主自立に向けて活動をしています。

2 活用している連絡ツールの内容・活用

クラブでは、下表のものを連絡ツールとして活用しています。

■ 利用している連絡ツール

	ケーブルテレビ	ホームページ	LINE@	Twitter	facebook	Sports Manager (ピクロ)
目的	会員の年齢層が幅広いので、それぞれの年代にあわせた情報発信ツールを複数持つ					
内容	市内全域に告知するイベント	<ul style="list-style-type: none"> クラブ紹介 カレンダー プログラム イベント情報 入会案内 など 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの休止・変更 イベント情報 	<ul style="list-style-type: none"> HPへの誘導 プログラムの休止・変更 イベント情報 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の保護者向け プログラムの休止・変更 イベント情報 	
運用	必要時にテレビ局に文章で依頼	情報発信のメイン	主にタイムラインを使用	Twitterとfacebookを連動情報の第一報として発信		連絡網サービス利用
経費	無料	無料の範囲内で利用		無料		初期費用必要
利点	SNSを利用しない方への情報発信	決定事項をすぐに発信できる スマートフォンを利用すればどこにいても発信できる				情報発信後に保護者の確認状況を把握できる
更新頻度	—	必要時に随時				
更新者	—	事務局1名が情報を一本化して更新 ※各プログラム内でスタッフから電話、メール、LINEなどで連絡事項を流すこともあり。会員、会員問わず周知する内容は、クラブから発信。会員内だけの連絡についてはスタッフが行うこともあり。				
負担感	なし	先に分かっていることはまとめて更新。天候に左右される屋外のプログラムの連絡は時間を気にしながらの情報発信となるが、一斉に通知できるので負担感はない。				

※急な休み(例: 気象の警報が出て中止にするなど)の時は、人数が10数名のプログラムについてはスタッフと事務局とで手分けをして電話連絡をするときもあり。

上記の連絡ツールを活用するにあたっては、個人情報の扱い等に注意しています。そのため、イベント報告やPRの際に、画像や個人名を出すことがあるので入会受付時に掲載の可否を確認するようにしています。また、全員に情報が行きわたっていると過信せず、各プログラムの開催時にも情報が届いているか確認することを心がけています。なお、登録当初は無料であっても料金プ

ランが途中で変更になり、容量の制限等が設定されることがあるので、使用にあたっては最新の使用条件を確認するようにしています。

その他、イベントの開催要項等にも、「警報発表時の開催有無の通知について」という項目を設け、QRコードや検索ワードを掲載し、参加者が開催状況を簡単に確認できるような取組もしています。

ホームページ	LINE@	Twitter	facebook
  <p>http://sporekuse-maniwa.jimdo.com/</p>	 	  <p>https://twitter.com/sporekuse</p>	  <p>https://www.facebook.com/sporekuse/</p>

3 ケーブルテレビ「真庭いきいきテレビ」との連携

ケーブルテレビ：真庭いきいきテレビ

クラブ設立準備当時の地区のケーブルテレビ局「KHK」は久世町が運営していました。旧久世町教育委員会が主導となり、クラブ設立を検討したことから、KHKのバックアップをいただくことができ、クラブにとって強い味方となりました。

平成14年2月、設立準備委員会では総合型地域スポーツクラブのPR番組を作成しました。設立準備委員会とKHKのディレクターとで内容を協議し、番組の作成をしました。準備委員自らが出演し、「総合型クラブとは?」「久世町がめざすクラブは?」「クラブに入ったらどんな良いことがある?」といった内容の番組を放送したり、会員募集の時期にはコマーシャルも放送しました。

クラブ発足以降は、クラブのプログラム紹介番組、10周年記念事業の事前PR番組、敬老会特集でクラブ会員の最高齢の方がクラブで活動している様子など、特集番組として制作していただきました。

久世町が町村合併により真庭市となり、テレビ局が「KHK」から「真庭いきいきテレビ

(MIT)」となった後も、地域のニュースを放送している夕方の情報番組「ほっとまにチャン」のお知らせコーナーにおいて、文字と音声によるイベントの告知を行っています。

その他、クラブのイベントや、Jr綱引スクールが全国大会に出場する激励会の様子などをニュース番組の中で放送しているので、クラブのPRにもつながっています。

また、MITの企画としてノルディックウォーキングの体験番組を作成する際には、当クラブのウォーキングサークル会員がモニターとなって出演をするなど連携もしています。

このように、テレビ局側から「こういう番組を作りたい」という企画を受ける形(数分の番組)と、クラブ側から文章を渡してイベントの告知などを放送してもらう形(ニュースの中のお知らせコーナー)で連携をしています。真庭市のスポーツ振興、地域活性化につながるものとして協力していただいています。

(スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ)
クラブマネジャー 前田 江美

解説

ケーブルテレビ・地域密着チャンネルとは

ケーブルテレビとは、サービスを提供する地域に光ファイバーケーブルや同軸ケーブルを敷設して、ケーブルテレビ局のセンターと地域内の一軒一軒の家庭を1本のケーブルで結び、放送サービスと通信サービス等、多様なサービスを提供しているものです。

また、特定の地域を対象にサービスを提供しているため、地域に密着した内容を放送するチャンネル(コミュニティチャンネル)を持っているところも多くあります。

スポーツ・レクリエーション倶楽部くせの例を参考に、ケーブルテレビ局(運営会社)と連携し、クラブの魅力をアピールするような企画を持ち込んでみてはいかがでしょうか。



一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟のホームページで、地域のケーブルテレビ事業者を検索することができます。

http://asp.netmap.jp/jcta/search_pref.html

*一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟ホームページより一部引用

クラブプロフィール

設立年月日：平成15年5月11日

所在地：岡山県真庭市久世地区

運営：会員数363名(平成28年6月現在)、
予算規模724万円(平成28年度)

特徴：クラブ発足から13年が経過し、近年は事業の柱となる「運動・スポーツ実施機会の定着」「スポーツを通しての世代間交流」「高齢者の居場所づくり」「地域の子どもの体力向上」などの運動・スポーツ活動の他に「飲み歩き食べ歩きイベント」や「自主防災組織設立推進事業」など地域で必要とされることに挑戦し、スポーツだけではなく地域密着の運営体制に取り組んでいる。

■連絡先

郵便番号	719-3201
住所	岡山県真庭市久世266-2 久世体育館内
TEL	0867-42-5430
FAX	0867-45-7557
Eメール	sporekuse2003@blue.ocn.ne.jp
ホームページ	http://sporekuse-maniwa.jimdo.com/



助成金情報

一般公募助成事業

[実施団体] (公財) ライフスポーツ財団

総合型地域スポーツクラブや地域で活動する団体で実施されている親子や幼少児を対象としたスポーツ事業(大会・教室等)に助成金を交付しています。

※大会・教室など事業に対する申請で、子ども(幼児・小学生)の参加者が30%以上であることが条件

[申込期間] 平成28年4月1日(金)～7月31日(日)

様式をダウンロードし必要事項を記入のうえ、郵送します。

<http://www.lsf.or.jp/josei>

高齢者福祉助成(近畿2府4県限定)

[実施団体] (公財) 大阪ガスグループ福祉財団

活力あふれる長寿社会を実現するため、高齢者を対象にした福祉活動や高齢者の社会参加を支援する活動など、「高齢社会における地域福祉づくり活動」に対して助成します。

※滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市の社会福祉協議会の推薦が必要

[申込期間] 平成28年7月1日(金)～8月31日(水)

申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、社会福祉協議会へ提出します。

http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/fukushi/jyosei/fukushi_detail.html

平成28年度(第23回) ボランティア活動助成要領

[実施団体] (公財) 大和証券福祉財団

高齢者、障がい児者、児童等への支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動に対して助成します。

※地域(都道府県及び市区町村)の社会福祉協議会、または共同募金会からの推薦が必要

[申込期間] 平成28年8月1日(月)～9月15日(木) ※当日消印有効

申請書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、郵送します。

<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html>

お知らせ



クラブアドバイザーも 資質・技能の向上を目指しています！

クラブを運営されているみなさまに寄り添って活動をしているクラブアドバイザー。全国で活動するクラブアドバイザーは、毎年一堂に会して資質・技術向上のための研修を受けています。昨年度に引き続き、その研修の様子をご紹介します！

クラブアドバイザーとは？

クラブアドバイザーは、総合型クラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしているよう、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。

日本体育協会では、平成28年度は34都道府県体育（スポーツ）協会に34名のクラブアドバイザーを配置しています。

クラブアドバイザーミーティングとは？

日本体育協会が配置しているクラブアドバイザー等を対象に、その資質と技能の向上を図ることを目的に実施しています。

平成28年度は、日本体育協会が策定した「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」において緊急度・重要度が高い取組みの一つとして挙げられている「スポーツ推進委員との連携」をメインテーマとして、5月26日（木）・27日（金）の日程で行われました。

1日目 5/26（木）

講演兼アイスブレイク

コミュニケーションスキルを高める！
～クリティカル・シンキングを身につける～

講師：島根宏幸氏（アソビュー株式会社）

これまでクラブアドバイザーから本会へ寄せられたご意見（クラブへのアドバイスや提案を行うにあたり、コミュニケーションスキルが重要である）にお応えし、グロービス・マネジメント・スクールにてコミュニケーションスキルを含んだ「クリティカル・シンキング」講座等の講師としてご活躍されている島根氏より講演いただきました。

また、この時間の中では、参加者間のアイスブレイクも兼ねて、説得力のある提案を考えるグループワーク等も行いました。



講演内容(一部)

- クリティカル・シンキングは、効率的・効果的なコミュニケーションに役立つ。
- クリティカル・シンキングは、マーケティングやリーダーシップなどのマネジメントスキルの基礎となる。
- 説得力のある提案には、以下の3点が必要である。
 - ① 相手が知りたいことにきちんと答えている [イシュー (論点)]
 - ② 考えるべき論点が押さえられている [枠組み]
 - ③ 結論に至る根拠に納得感がある [主張と根拠]

2日目 5/27(金)

説明

スポーツ推進委員制度の概要について

説明者：園山 和夫氏 (公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合専務理事)

全国スポーツ推進委員連合の園山専務理事から、スポーツ推進委員制度の変遷、求められる資質と役割等について説明いただきました。



説明内容(一部)

- 昭和36年に「スポーツ振興法」によって、体育指導委員が法制化され、市町村教育委員会が任命するようになった。スポーツ実技指導やスポーツに関する指導助言などインストラクター、アドバイザーといった役割を担っていた。
- 平成11年にスポーツ振興法が一部改正され、任命制から委嘱制に変更となった。
- 平成23年のスポーツ基本法の制定に伴い、名称が「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」へ変更となり、コーディネーター(スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整)としての役割が追加された。
- スポーツ推進委員に求められる資質は「社会的信望」、「スポーツに関する深い関心・理解」、「職務を行うのに必要な熱意・能力」である。
- スポーツ推進委員は、「地域づくりの視点」を持って活動していくことが求められる。

講演

スポーツ推進委員の役割・活動内容と総合型クラブとの関係性

講演者：土谷 忠昭氏(公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合理事)

全国スポーツ推進委員連合理事で、平成26年度までクラブアドバイザーを務めていた土谷氏は、総合型クラブとスポーツ推進委員のいずれにも精通しています。今回は、その知見からスポーツ推進委員の役割・活動やクラブアドバイザーとスポーツ推進委員との連携に関する講演をいただきました。



講演内容(一部)

- 体育指導委員からスポーツ推進委員になったことにより、コーディネーター(連絡調整)としての役割が追加された。
- 連絡調整をするためには、住民の立場となり、住民とスポーツ推進委員がお互いに活動していくことが重要であり、コミュニケーション等の能力も求められる。また、ネットワークづくりを意識することが必要である。
- スポーツ団体としては、運営から経営へ意識を転換させ、スポーツに関わる団体を一枚岩にすることが重要である。
- 総合型クラブの経営(運営)には、みんな(スポーツ推進委員、クラブ会員)がわかる言葉でクラブの理念を共有することが必要であり、地域の財産を有効に活用し、魅力あるクラブ・事業を行うことが大切である。
- クラブアドバイザー・スポーツ推進委員には、地域の課題把握、クラブごとの課題把握、運営と経営の違いのアドバイス、行政・クラブ地域の連携等の役割が求められる。
- クラブ、会員、地域、行政のみんなが責任を持つと地域が変わる。

スポーツ推進委員との連携・協働について

発表者：小内 清子氏（東京都クラブアドバイザー）

東京都クラブアドバイザーであり、スポーツ推進委員も務める小内氏より、スポーツ推進委員としての活動や総合型クラブとの連携に関する事例発表をいただきました。

事例発表後には、説明・講演を踏まえて、「スポーツ推進委員との連携が上手く行っている点、なかなか難しいと思っている点を出し合って、より良い連携を模索する」をテーマとしたグループワークが行われました。


発表内容（一部）

- 東京都のスポーツ推進委員の委嘱は、教育委員会や体育協会等が行っている。推進委員の一般公募は一部の市区町村では行われているが、地域推薦が多い。
- 東京都のスポーツ推進委員は、40代から60代が全体の8割を占めている。
- 課題は、スポーツ推進委員の認知度が低いこと、なり手がいないことである。
- スポーツ推進委員規則に、スポーツ推進委員の職務として、総合型地域スポーツクラブ等の組織の育成を図る等が明記されている区もある。

グループワーク内容（一部）

参加者からは「まずは総合型クラブの関係者とスポーツ推進委員がお互いのことを知ることが重要」といった意見や、「スポーツ推進委員には、行政と総合型クラブの間に入るパイプ役となってほしい」といった今後の連携に向けた積極的な意見が多く出されました。




 お知らせ

フェアプレイ情報

「フェアプレイの日 記念イベント」を開催しました。イベントでは、「日本フェアプレイ大賞 2015-16」表彰式、選考委員と特別ゲストによるトークショーが行われました。

✔ 表彰式、トークショーの様子はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/888/Default.aspx?itemid=3350>

大賞作品は、漫画化され、7月8日発行の壁新聞「体協フェアプレイニュース」に掲載されています。

✔ 日本フェアプレイ大賞2015-16 大賞作品はこちらから

<http://fairplay.japan-sports.or.jp/#episode>

指導者資格情報

平成28年10月1日付公認スポーツ指導者登録手続きを開始します。資格の取得および資格継続のために必要な手続きになりますので、該当する方は期限までにお手続きいただきますようお願いいたします。

なお、該当の方には7月下旬に登録住所あてに登録手続き書類をお送りします（指導者マイページ保有者にはメールでもお知らせを送信）ので、資格登録内容をご確認の上、登録料のお支払いをお願いいたします。

熱中症対策情報

夏の屋内外の運動で特に気をつけたいのが熱中症。

スポーツによる熱中症はしっかりとした予防をすれば防ぐことができます。

ガイドブックを読んで、熱中症を予防しましょう！

✔ 熱中症の病型と救急処置、スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック等についてはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid/523/Default.aspx>

報告書等情報

◎「スポーツリスクマネジメントの実践」アプリ・ウェブブックを配信中

日本体育協会が平成21年度から平成25年度に実施したリスクマネジメント研修会の内容を、研修会で出た質疑応答の内容も含めて取りまとめました。

スポーツにはケガが付きものであると言われていますが、意識不明の重体や死亡につながる事故は指導者がリスクマネジメントの意識を持つことで防ぐことができます。

クラブの事故防止にぜひご活用ください！

✔ ウェブブック閲覧、アプリダウンロードはこちらから！

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/local/tabid/936/Default.aspx#02>

セミナー情報

◎日本体育学会第67回大会 スポーツと“ひと・社会” — 融合と進歩の先に —

平成28年8月24日(水)～26日(金)の期間、大阪体育大学にて「日本体育学会第67回大会」が開催されます。

本学会では、生涯スポーツに係る多くの専門領域の発表が予定されており、総合型クラブや障がい者スポーツをはじめ、最新のスポーツ情勢について学べる場となっております。

現在、参加募集をしておりますので、興味のある方は下記URLをご参照の上、ぜひご参加ください。

学会名称：日本体育学会第67回大会 スポーツと“ひと・社会” — 融合と進歩の先に —

日 時：平成28年8月24日(水)～8月26日(金)

会 場：大阪体育大学

参 加 費：学会会員10,000円、学会会員外11,000円、学生5,000円

申込方法等詳細については、以下のURLをご参照ください。

<http://www.jspe67.com/index.html>

問い合わせ先：日本体育学会第67回大会事務局

jspe67@gmail.com